

『未来共創』投稿規定

1. 投稿資格

大阪大学大学院人間科学研究科に所属する教員と学生、未来共創センターと関連のある団体や個人(大阪大学オムニサイトの連携団体など)、未来共創センター主催の研究会に参加している教員および大学院生(研究科を問わない)、未来共生イノベーター博士課程プログラムの教員と大学院生、その他編集委員会が適当と認めた方が投稿できます。

2. 審査・校閲

論文については、編集委員会が選出した複数の査読者による査読結果に基づき、編集委員会が掲載の可否を決定します。

論文以外の原稿の校閲に関しては編集委員会が行い、その結果に基づき、改訂・修正の可能性があることをご了承ください。投稿された原稿の掲載の可否は、編集委員会が決定します。

3. 原稿形式

原稿は、マイクロソフト・ワードで読み込み可能な形式で作成してください。写真・図表は、執筆者がパソコンで作成・編集したものを、本文とは別のファイルで提出してください。

4. 原稿送付について

未来共創センター・ジャーナル事務局宛に、メールの添付ファイルで締め切りまでに送付してください。草稿ではなく完成稿をお送りくださるようお願いいたします。なお、文字化けする可能性のある特殊な文字、記号を使用する場合は印刷済み原稿1部とともに、原稿のデータファイルを記録した各種電子メディア(CDR対応・WindowsならびにMacintosh対応)を、事務局宛に郵送してください。一旦ご提出いただきました原稿は返却いたしません。

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-2

大阪大学大学院人間科学研究科 未来共創センター『未来共創』編集委員会 事務局

TEL : 06-6879-4050 (内線 4050) E-mail: miraikyoso_journal@hus.osaka-u.ac.jp

5. 原稿の区分と枚数

本誌には、広い意味での「共創」や「共生」にかかわる「論文」「研究ノート」「フィールドワーク報告」「書評」「エッセイ」等の区分を設けます。また、原稿の区分ごとに、下記のとおり、文字数制限を設けます。分量には、図表・注・参考文献なども含まれます。なお、新たに区分を設けるとときには編集委員会の審議を経て決定します。

論文(査読有り)	12,000～25,000 字程度(英文: 6,000～12,000 語程度)
研究ノート	10,000 字程度(英文: 6,000 語程度)
フィールドワーク報告	5,000～10,000 字程度(英文: 6,000 語程度)
書評	2,000～3,000 字程度(英文: 1,500 語程度)
エッセイ	2,000 字程度(英文: 1,000 語程度)

6. 研究倫理について

本誌に投稿される「論文」および「研究ノート」の原稿が、1)「ヒトを対象とする研究」、2)「ヒト遺伝子情報を含む研究」、3)「実験動物を用いる研究」である場合については、専門分野の倫理規定に従って、研究機関の当該の倫理委員会で審議され許可されていることを「方法」に述べてください。なお、何らかの理由により「方法」に述べられない場合については、投稿時に編集委員会に申し出ることとします。

7. 使用言語について

使用言語は日本語および英語とします。その他の言語は受け付けておりません。英文原稿を提出される場合は、英文校閲を受けた後、英文校閲の証明書も合わせて提出してください。(英語が母語の方の場合は、英文校閲証明書は必要ありません。)

8. 構成

論文：題名、要旨、キーワード、目次、本文、注、参考文献、英語題名、英語要旨、英語キーワード

研究ノート：題名、要旨、キーワード、目次、本文、注、参考文献、英語題名、英語要旨、英語キーワード

フィールドワーク報告：題名、キーワード、目次、本文、注、参考文献

書評：編・著者名、書名、副題、版数、出版地、出版社、刊行年、総頁数、定価

エッセイ：題名、本文

※ 英文で提出する場合は、日本語の題名・要旨・キーワードは、必要ありません。

9. 要旨

論文と研究ノートについては要旨を提出してください。

要旨：400～500 字程度（英語要旨の場合、300 語程度）とします。

英語要旨：300 語程度とします。

※ 英文で提出する場合、日本語の要旨は必要ありません。

10. 様式

1) 原稿は A4 判縦置き横書きとし、フォントは 10.5 ポイントとします。

2) 題名の下に、氏名・所属・連絡先（電子メールアドレス）を明記してください。

3) 本文中の見出しは、章は 1、節は 1.1、1.1.1 の順とします。

4) 使用言語を日本語とする場合、論文および研究ノートでは、題目・キーワードに英訳、英文要旨を付記してください。

5) 文中の数字はすべて半角とします。日本語における句読点は「、」「。」（全角）を使用してください。

6) 図表の題目は、原稿中の図表の差し込み位置に記載してください。図表は、各々通し番号（表 1、表 2、図 1、図 2）をつけてください。

7) 文献引用・参考文献などの記載形式は、基本的に以下の記載方法に準じてください。

文献引用・参考文献の記載方法

<文献引用>

文献引用は、本文中に（著者名 刊行年：頁数）と表記するか、あるいは後注にて示すこととします（括弧は全角、スペースは半角）。

*** 本文中に表記する場合の例**

…である（栗本 2008: 65-66）。

栗本（2008: 65-66）は…と指摘している。

（Koizumi 2005; ヒベイロ 2007）

（栗本 2006; 2008） 同一著者による複数の論文・著者を参照する場合

*** 後注で表記する場合の例**

本文中で引用する文献について、書誌情報を後注で示す場合には下記例に倣って表記し、「前掲書」「op. cit.」の使用を避けてください。「同書」「同頁」「ibid」は、著者名を併記する等、指示文献が明確にわかるように表記してください。また、後注で示した場合でも、末尾に参照文献一覧を付してください。繰り返し同一論文を引用する場合、略称を使用することを認めます。

著者の場合 編著者『表題』（出版地ないし出版社）発行年、巻数、頁。

日本語著者の場合、「出版地」を省略してもよい。

論文の場合 著者「表題」『雑誌名』巻号（発行年）頁。

<参考文献>

参考文献は、使用言語ごとに区分して一覧表示してください。日本語文献の配列は、著者名（姓）の50音順とします。日本語以外の言語によって書かれた文献の配列は、著者名（姓）のアルファベット順とします。同一著者の文献が複数あれば刊行年順に列举してください。

■雑誌論文

栗本英世

2006 「戦後スーダンの政治的動態—包括的平和協定の調印から一年を経て」『海外事情』54(4): 77-92。

Koizumi, Junji

2005 Pluralizing Anthropology. *Anthropology News* 46(7): 9.

Morita, Atsuro and Gergely, Mohácsi

2013 Translations on the move: A review essay. *NatureCulture* 2: 6-22.

■論文集所収の論文

栗本英世

2008 「教育に託した開発・発展の夢——内戦、離散とスーダンのパリ人」石塚道子・田沼幸子・富山一郎編『ポスト・ユートピアの人類学』pp.45-69、京都：人文書院。

ヒベイロ、グスタボ・リンス

2007 「複数のグローバル化——代替的な（ネイティブに代わる）トランスナショナルな過程と行為者たち」久保明教訳、小泉潤二・栗本英世編『第3巻 トランスナショナルリティ研究』（「インターフェイスの人文学」研究報告書 2004-2006）

pp.49-108、大阪：大阪大学 21 世紀 COE プログラム「インターフェイスの人文学」。

Malkki, Liisa H.

- 2001 Figures of the Future: Dystopia and Subjectivity in the Social Imagination of the Future. In E. Kurimoto (ed.) *Rewriting Africa: Toward Renaissance*, pp.239-261. JCAS Symposium Series 14. Osaka: JCAS, National Museum of Ethnology.

■単行本

栗本英世

- 1996 『民族紛争を生きる人びと——現代アフリカの国家とマイノリティ』京都：世界思想社。

Hartigan, John

- 2015 Aesop's Anthropology: A Multispecies Approach. Minneapolis: University of Minnesota Press.

Daston, Lorraine (ed.)

- 2004 Things That Talk: Object Lessons from Art and Science. New York: Zone Books.

■翻訳書

ギアツ, クリフォード

- 2002 『解釈人類学と反＝反相対主義』小泉潤二編訳、東京：みすず書房。

■Web サイト

環境省編

- 2013 「環境白書・循環型社会白書／生物多様性白書 平成 25 年版」
<http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/h25/index.html> (2013/10/17 アクセス)

United Nations

- 1977 U.N. Doc. S/PV. 2046, 4 November 1977
<http://www.un.org/en/documents/ods/> (2013/10/17 アクセス)

上記以外の場合は、各分野の標準的な記載方法に従うものとします。

1 1. 提出にあたる注意事項

大学院生による投稿の場合、必ず指導教員の承諾を受ける必要があります。指導教員の承諾署名欄を設けた提出書を準備していますので、これを合せて提出してください。

※「提出書」は、未来共創センターのジャーナル『未来共創』のホームページよりダウンロードしてください。(<https://www.hus.osaka-u.ac.jp/mirai-kyoso/ja/journal/>)

1 2. ウェブサイトでの公開

本誌はオンライン・ジャーナルの形式をとります。原稿はジャーナル『未来共創』のウェブサイトに掲載されます。また、すべての原稿は原則として「大阪大学機関リポジトリ OUKA」、および J-STAGE に

て公開するものとします。

ジャーナル『未来共創』 <https://www.hus.osaka-u.ac.jp/mirai-kyoso/ja/journal>

大阪大学機関リポジトリ OUKA（桜華） <http://ir.library.osaka-u.ac.jp/dspace/>

J-STAGE 『未来共創』 <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/miraikyoso/-char/ja>

2013 年 10 月 18 日制定

2013 年 10 月 22 日改訂

2014 年 11 月 19 日改訂

2015 年 5 月 26 日改訂

2016 年 12 月 15 日改訂

2019 年 7 月 29 日改訂

2020 年 7 月 29 日改訂

2020 年 11 月 9 日改訂

2022 年 10 月 13 日改訂

2023 年 7 月 4 日改訂